

2026年2月6日  
出光興産株式会社

**環境省「プラスマ・アワード 2026」の「拾う」部門において金賞を受賞**  
**福岡県宗像市と連携した海洋プラスチックの回収と資源化・再生利用が評価**

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：酒井則明、以下「当社」）は、環境省が主催する「プラスマ・アワード 2026」の「拾う」部門において、最優秀事例となる金賞を受賞しました。本受賞は、当社が福岡県宗像市と連携して実施してきたビーチクリーン（海岸清掃）活動における海洋プラスチックの回収と、回収した海洋プラスチックを資源として再生利用につなげる一連の取り組みが評価されたことによるものです。

■受賞概要

表彰名：プラスマ・アワード 2026「拾う」部門 金賞  
内容：宗像市と連携した海洋プラスチック回収および資源循環の取り組み  
主催：環境省



授賞式の様子



プラスマ・アワード 2026 金賞ロゴマーク

当社は、海洋プラスチックごみ問題の解決と資源循環型社会の実現への貢献に向けて、創業者・出光佐三のゆかりの地である福岡県宗像市と協働し、地域共創型の環境活動を推進しています。2023年から毎年、当社グループ社員、特約販売店からの参加者、宗像市職員が一体となってビーチクリーン活動を実施し、宗像市大島の海岸に流れ着いた海洋ごみの回収に取り組んできました。

ビーチクリーン活動では、回収した海洋ごみの中から再生可能なプラスチックを参加者自らが分別し、資源として循環させることを重視しています。分別されたプラスチックの油化は、環境エネルギー株式会社（本社：広島県福山市、代表取締役社長：野田修嗣）お

よび、該社と当社の合併会社であるケミカルリサイクル・ジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表者：岡村仁彦）が共同で実施しました。独自のケミカルリサイクル技術を用いた油化処理を行い、プラスチック原料にも使用可能な再生油（CR 油※）として生成しています。生成された再生油は宗像市へ寄贈され、地域内で活用されています。単なるごみ拾い活動にとどまらず、「回収」「分別」「再資源化」「地域での活用」までを一貫して行う点が特長です。当社グループの人の力と技術を生かすとともに地域社会と連携することで、持続可能な資源循環モデルを実現しています。

当社は今後も、本取り組みやケミカルリサイクル事業を通して、使用済みプラスチックの再資源化に取り組み、循環型社会の実現への貢献を目指します。

※CR 油：ケミカルリサイクル油。使用済みプラスチックを油化して生産した軽質原油相当の油。

#### 【参考】 プラσμα・アワードについて

環境省では、2018 年から海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて、海洋プラスチック汚染の実態を正しく理解し、「プラスチックとの賢い付き合い方」を全国的に推進する「プラスチック・スマート」を推進しています。プラσμα・アワードは、この「プラスチック・スマート」の考えに沿った優良な取り組みを表彰する制度です。

以下の 5 部門で構成され、①～③の視点で評価されます。

拾う               ：団体・企業・地域などが主体となり、プラスチックごみを回収する活動  
分ける・戻す      ：プラスチックの再使用や再生利用につながる分別・回収の取り組み  
広める            ：研究、シンポジウム、情報発信などを通じた啓発活動  
作る               ：再生材や代替素材を活用した製品・技術・関連活動  
使う・減らす      ：プラスチック使用量削減につながる商品導入や行動変容の取り組み

- ① 独自性（取り組みの技術・スキームなど）
- ② 訴求力（取り組みの発信・波及効果）
- ③ 持続性（取り組みの継続）

環境省「プラスチック・スマート」

<http://plastics-smart.env.go.jp/>

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

[https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease\\_flow/index.html](https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html)